

「ご来賓あいさつ」(要旨)

フレイル予防などの施策を展開し、
元気で活力のある街にしていきたい



四日市市長
森 智広様

四日市市では、今年度から二つフレイル対策・フレイル予防の活動を始めました。フレイルとは、努力すれば元気な体に戻ってくれるという状態です。今年度から中部電力と協力し、お一人暮らしの方に各家庭の電気モニター、電気使用量をAIで分析し、その人がフレイルかどうか判明するという取り組みを行っています。ご興味のある方は、ぜひ登録をしていただきたい。また、6月から高齢者の補聴器の購入助成事業が始まります。「しっかりと聞く・音を拾う」ということは、認知機能の低下を抑止し、フレイル予防にも繋がります。様々な施策を展開していきたいながら、元気で活躍していただける方々を増やしていきたい。な街にしていきたい。

シルバー人材センター様と様々な連携を図りながらこのような取り組みを進めていければと思っております。

具体的なニーズを的確に捉え、
高齢者が意欲的に
社会参加できる暮らしを



四日市市議会議長
村山 繁生様

近年、核家族化・少子高齢化が急速に進んで、労働人口総数に占める65歳以上の割合が年々上昇しています。そういった状況の中、社会参加を希望される高齢者や、また経験を活かして新たな就業を目指す方々の多様なニーズに対応され、多大なご尽力賜っておりますことに心から感謝申し上げます。四日市市議会といたしましても、健康・医療・介護をはじめとする具体的ニーズを的確に捉えて、高齢者が意欲的に社会参加をして暮らしていけるような、そういった施策を展開できるように尽力してまいります。

会員の皆様におかれましては、今後も自分の経験を生かしながらより一層地域社会で重要な役割を担っていただきますようお願いいたします。

高齢者の6割近くは、65歳を
超えても働きたいと希望

三重労働局長 石田 聡様



(代読)
四日市公共職業安定所
所長 奥野 裕子様

高齢者の6割近くは65歳を超えても働きたいと希望しており年齢に関わりなく意欲ある高齢者が働くための多様な就業機会を提供することが求められています。

高齢者が活躍の場を見出し、働きやすい環境の整備の一つとしてシルバー人材センターの機能強化があげられます。

各シルバー人材センターにおかれましては、さらなる会員数の拡大に向けて取組を強化・推進いただき、引き続き雇用・就業機会の確保に向けて一層の取組みをお願いするとともに、事業運営の効率化、適正で安全な就業の徹底を併せてお願いいたします。三重労働局としても、各ハローワークとともに関係機関との連携を密にし、皆様の取組に対する支援に邁進する所存でございます。

社会の変化に対応した
高齢者の就業機会の
実現を図る



会務団長
三重県シルバー人材センター連合会
会長 角前 明様

昨今のシルバー事業を取り巻く環境は「会員拡大」「退会抑制」「安全就業の徹底と健康維持」「デジタル化の推進」などに加え、令和六年度から実施されている「シルバー事業における契約方法の変更」や令和七年度から施行されている「公益法人制度改革」など避けて通れない課題がいくつもあります。

このような課題をしっかりと認識し、社会の変化に対応した新しい高齢者の就業機会の実現を図っていくことが求められています。

三重県シルバー人材センター連合会といたしましては、会員拡大や安全就業、デジタル化の推進を柱に新たな課題である「契約方法の変更」や「公益法人制度改革への対応」についての取り組みに邁進する所存でございますので、ご賛同いただきますようお願い申し上げます。